

カジノに賭ける ゆめ しま 儂き夢の洲

8/15

2017年第1274号

(毎月5、15、25日発行)

大阪府歯科保険医協会
 発行人 志岐 敬
 大阪市浪速区幸町1-2-33
 電話(06)6568-7731(代表)
<http://osk-net.org/>
 ●定価・年間10,000円 月1,000円
 ●1977年5月23日第三種郵便物認可



カジノ・万博誘致の候補地とされている夢洲。奥には六甲の山並が見える（大阪府咲洲庁舎展望台から撮影）

ムダがムダがムダ呼ぶ埋立開発

維新府政・市政が進めるカジノ・万博誘致の候補地・夢洲。甲子園球場約100個分に相当する人工島には広大な空き地が広がっている。

大阪湾の埋め立て開発の歴史は失敗の連続だった。重化学コンビナートの集積、宅地化、テクノポート計画、オリンピック誘致、液晶・太陽光パネルベイ構想……。開発計画が持ち上がるたびにインフラ整備やハコモノ建設に莫大な血税を投入。そして、誰も責任を取らないまま、失敗のツケは医療・福祉施策の削減となって府民・市民に重くのしかかっている。

カジノ問題を考える大阪ネットワーク代表の桜田照雄氏（阪南大学教授）の案内で大阪湾の咲洲・夢洲・舞洲を歩き、カジノ・万博誘致の舞台を取材した。次々と現れる「負の遺産」を前に、憤りを抱かずにはいられなかった。

過去の失敗を顧みることなく、誘致に突き進む維新府政・市政。ムダがムダを呼ぶ埋め立て開発の実態を、矢部あづさ新聞部長と南端理伸同僚がリポートする。

（4・5面に特集）

サマーセミナー2017

カジノ幻想

「大阪経済が成長する」という嘘

2017年8月20日(日)
 時間：午後1時～3時 会場：M&Dホール
 (大阪市浪速区幸町1-2-33)
 講師：鳥畑与一氏（静岡大学教授）
 会費：会員・家族・スタッフ無料

「カジノで経済成長」は本当なのか。カジノ推進は、地方再生・観光客増加などのメリットを強調するが…。鳥畑与一氏（静岡大学教授）がカジノビジネスの真実を明らかにする。

お知らせ

本紙は、8月5日付・15日付の合併号です。協会は12～16日まで休務となります。

この夏、大阪で「メガ恐竜展」が開かれている。物言わぬ絶滅種からのメッセージをいかに受け取るか。巨大なネットワークでつながり、膨大な情報が流れる時代になっても、我々にはまだまだ学習するべき事が多そうだ。

歯界

恐竜の全盛期にヒトの祖先の小型哺乳類は隠れて生き延びた。人類は、恐竜絶滅後に大きな進化をとり、地球環境を壊すほどの「巨人」生物になった。日本人の身長は、100年で数センチ伸びたようだが、もう千年で数10センチ、1万年後には数メートル伸びたら、恐竜サイズになるのだろうか。想像力で素人は学者に負けないが、生物の進化に応じた地球環境の変動も創造域は広い。

飽くなき欲望の果てに、格差と貧困が広がり、環境破壊が進む世界。ヒトは、限られた固體生命と種の生命の存続期間中にどれだけ自分の生存環境を破壊するのか、守れるのか。恐らく人類に絶滅危惧種の自覚はないだろう。